

会 議 録

会議の名称	令和3年度 第2回 富士見市スポーツ推進審議会
開催日時	令和3年10月27日（水）19時30分～21時00分
開催場所	富士見市役所 分館会議室
出席者	谷澤誠会長、田中悦子副会長、武田圭介委員、神谷和義委員、 斉木正一委員、谷口佳委員、上杉健太委員 事務局（文化・スポーツ振興課）
欠席者	矢野順也委員、望月多恵委員、家田友樹委員
会議次第	議題 （1）報告事項 ①富士見ガーデンビーチ閉園セレモニーに関する報告 （2）協議事項 ①第2期富士見市スポーツ推進計画の策定について ②富士見ガーデンビーチの跡地利用について（意見交換）
会議資料	資料1 第2期富士見市スポーツ推進計画素案 資料2 第2期スポーツ推進計画作成スケジュール 資料3 富士見ガーデンビーチ運用検討に資する提言 資料4 富士見ガーデンビーチ運用の検討説明資料
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議録確認	谷澤会長

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

- （1）富士見ガーデンビーチ閉園セレモニーに関する報告

4 協議事項

- （1）第2期富士見市スポーツ推進計画策定について
→事務局から資料に基づき説明

- 会 長…各委員から第2期スポーツ推進計画の素案について意見等あればお願いしたい。
- 委 員…第1期スポーツ推進計画の課題を捉えて反映されていると思う。施設設備の面での環境整備は現在課題が多くあるため、特に進めていくことが難しいと感じる。各年代にわたって広くスポーツを推進できるような計画にしてほしい。
- 委 員…第2期スポーツ計画では第1期とは違い、総合型地域スポーツクラブの立ち位置や捉え方が変わっていると思うが、これはおそらく総合型地域スポーツクラブが0から1に増えたという前提で素案を考えたのではないかと予想する。第1期ではクラブの創設支援と創設後の持続可能な運営の支援を検討があげられていた。第2期ではそこをどのようにしていくのか気になる点ではある。現在県から認められた総合型地域スポーツクラブが市内に1つあるというのは事実であるが、まだ市が支援をして創設されたクラブのレベルには達していない。現在の登録者は60数名しかおらず、市と連携をとるには時期尚早ではないかと思う。連携というものが何をさすのか、具体的なイメージがあれば教えていただきたい。ふじみスポーツクラブを富士見市の総合型地域スポーツクラブとして創設したというには、市民への利益を損なってしまうのではないかと不安である。ふじみスポーツクラブは市が総力をあげて創設した総合型地域スポーツクラブとは違うため、公的な要素のある総合型地域スポーツクラブの創設を検討し、富士見市が支援する総合型地域スポーツクラブとはどんなものかももう一度考えたほうがいいのか。その中で支援するスポーツクラブの選択肢の1つとして、ふじみスポーツクラブが入っていければいいと思う。連携の中身次第ではあるが、まずは市として支援をするのがいいのではないかと。
- 委 員…43ページ、PDCAサイクルについての記載について、教育の現場ではリサーチのRがついてRPDCAサイクルで進めていることがある。スポーツ推進計画にも調査のRをいれてもいいのではないかと思う。
- 会 長…スポーツ環境の整備については今後大事ではないかと思う。河川敷の運動公園は台風がくると復旧に時間も費用もかかる。一度水害があると、次に台風がきた時も被害を受ける可能性があるため、行政としての取組を考えていってほしい。またスポーツ推進計画が絵に描いた餅にならぬよう、市民に認められるようなものを作ってほしいと思う。他市町村にあって富士見市にはない施設が多いのも事実で、様々な声を聞いているため、スポーツ環境の整備をお願いしたい。また、総合型地域スポーツクラブについても、行政指導のクラブでないと大変な部分も多いと思う。今後事務局と密に連絡をとりながら、活動していただきたい。

委員…第1期スポーツ推進計画策定時にも総合型地域スポーツクラブの話が出ており、早稲田大学のサッカーの先生に会議等に参加していただき意見をいただいた。その当時にとったアンケートでは総合型地域スポーツクラブの知名度はほとんどなかった。しかし、総合型地域スポーツクラブを知らなくても、そのようなクラブがあるとき興味をもつか聞いたところ、興味をもつだろうという人が多かった。そのため総合型地域スポーツクラブの創設支援をスポーツ推進計画の目標に入れたという背景がある。21ページの基本目標4の評価の中で、総合型地域スポーツクラブについての言及がないため入れたほうが良いのではないのか。そのうえで第2期スポーツ推進計画の中で市としてどのような立ち位置で支援をし、市民のスポーツをする機会の創出に繋げるのか、または支援のみ行うのか、考えたほうが良いのではないかと思う。連携できる部分があるのであれば、ふじみスポーツクラブとも話し合いながら進めていけるのではないか。

事務局…総合型地域スポーツクラブに関しては、行政が創設したものではないためなかなか言及するのが難しい状況である。この度ふじみスポーツクラブが総合型地域スポーツクラブとして認定されたため、これからどのように行政と関わっていけるのか、これから話し合っていく段階であると考えている。今日まで富士見市に総合型地域スポーツクラブがなかったため、不安を感じる部分もある。総合型地域スポーツクラブは国が認めた制度の中、一般社団法人として活動をしているものではあるが、参加費や年会費を徴収しながら活動をしているため、市が営利団体を支援していると思われるのではないかと不安である。誤解が生まれぬように進めていきたい。小さい子どもから年配の方まで、多世代多種目に活動をしているため、市の行事等としても多世代多種目なスポーツの機会をつくっていききたいと思う。そのため、イベント時に参加依頼をするような形で連携をしていければ良いのではないかと考えている。今後どのように支援や連携が発展していくか、まだ不透明ではあるため、第2期スポーツ推進計画の中では詳しく言及しきれない。

委員…昔から総合型地域スポーツクラブに興味をもっており、自分で調べたこともあったが、富士見市にはないということで残念に思っていた。そのため今年度富士見市にも総合型地域スポーツクラブが創設されたため、とても喜ばしいことであると思う。しかしどのように行政と関わっていくのかには大きな課題があり、また現在日本のスポーツ団体が多岐にわたっているため地域としてまとめることが難しい状況である。私が考えていたものとしては、市として総合型地域スポーツクラブをつくり、スポーツを推進するためのクラブであったが、時間も費用も足りない状況であると思う。そ

ここで、ふじみスポーツクラブと上手く関わりながら、支援や連携そしてスポーツ推進への活動を広げていくのが良いのではないかと。

委員…行政との関わり方も多様であると考え。例えば市がクラブの情報を市民へ提供したり、一緒に何かイベント等をつくっていったりできるのではないかと。クラブ側の求めているものと行政側の支援が結果として市民に利益がもたらされればいいのではないかと。支援の仕方に関して検討をするのは良いと思うが、利益の一致が必要であると思う。

委員…私自身総合型地域スポーツクラブを初めて知り、どのような年齢層の方がいるのか知らないため教えてほしい。

委員…下は幼稚園年少、上は62歳までの約65名の方が登録されている。中学生から20歳ぐらいの年齢の会員がいない状況である。

委員…どこで活動をしているのか。

委員…市内の公共施設で活動している。

委員…総合型地域スポーツクラブの情報を学校などで情報発信していれば会員の輪が広がっていくのではないかと。しかし障がいをもつ子どもたちへの受け入れは可能であるのか。

委員…現状は受け入れができていない。しかし、支援してくれる方がクラブに来たり、地域からのニーズがあつたりする場合にはすぐに着手したいと考えている。これから相談できることがあればお願いしたい。

会長…市内に新興地域が増えており、新しく富士見市に来た方たちだけの団体も増えている。総合型地域スポーツクラブの活動では新しく富士見市に来た人たちが関わりやすいのではないかと。従来の団体はすでに仲間ができており入りにくい雰囲気がある。そんな中、総合型地域スポーツクラブは間口を広げている。またクラブの存在を知らない市民が多いため、市が情報を広報等に載せるだけでもクラブとしては助かるのではないかと。市民が関われる交流の場所の提供としても、市があるものを利用させてもらうも大事ではないかと。

事務局…今までのスポーツは市内でもさらに地域ごとに分かれて団体ができていることが多かった。総合型地域スポーツクラブは富士見市全体を捉えて活動をしていると思うため、地域の交流や多くの市民が集まり新たな交流が生まれると思う。市としてもスポーツ推進計画の中でスポーツによる交流を目指していきたいと考えているため、連携または支援どちらの表現がふさわしいのか検討するが、双方協力体制をもちながら一歩踏み込んだ活動をしていきたい。

会長…まずは支援をしてあげることが大事ではないかと。

委員…または支援と連携の両方をスポーツ推進計画内で示し、進めていく中で検

討する形でも良いのではないだろうか。

事務局…スポーツ推進計画は5年間の計画であり、この5年間で支援または連携をとる方向性で方法を模索しながら進めていきたい。またスポーツ環境の設備に関しての意見について、市としても課題を認識している。課題解決のためにもスポーツ推進計画の中で明確にしていくことが大事であると考え。第2期スポーツ推進計画でも基本目標3「スポーツをするための環境整備の促進」として運動公園等の再整備という新たな項目を設け、具体的に取り組んでいきたいと思う。第1期スポーツ推進計画では整備についてはあまり触れていなかったため、第2期の中で整備については積極的に進めていきたい。

会 長…第2期スポーツ推進計画についての意見はまだあるか。

委 員…35ページ基本目標2「スポーツを通じた市民の交流と地域の活性化」とあるが、現在掲げている3つのK P Iの中に市民の交流や地域の活性化に関するものがないように見える。これらに関する指標をたてた方が良いのではないか。交流人口や年間観光客数、中心市街地における1日の通行人数など指標を取り入れると、市民の交流や地域の活性化の概要がわかりやすくなるのではないかと思う。また、K P I③のボランティア活動というのは、市内のボランティア活動をさすのか。

事務局…そうである。

委 員…基本目標2-4③で富士見TOPサポーターの活動機会の充実だけでなく、人数を増やす考えはあるのか。そして基本目標3-2②情報提供の充実とあるが、総合型地域スポーツクラブに関しても当てはまるとおり市民の方が知らない状態であることが多い。情報をいかに市民に届けるかというのは第1期からの課題であるため、時代に即した方法の模索をしてほしい。もう少し具体的に書いたほうが良いのではないかと思う。最後に、庁内体制の整備に関わる部署にシティプロモーションや観光といった言葉をいれた方が良いのではないかと感じた。

事務局…富士見TOPサポーターの人数を増やしていくかについて回答する。富士見TOPサポーターは富士見市におけるオリンピック・パラリンピックの取組に関するボランティアとして募集をした。登録上では現在約150名のTOPサポーターがいる。登録している方はオリンピック・パラリンピックに関するだけでなく、スポーツ関係のボランティア希望の方、姉妹都市関係で国際交流のボランティア希望の方、分野問わず地域のボランティア希望の方などさまざまである。これから意向調査をし、希望に添う形でTOPサポーターの活動をできるようにしていきたいと考えている。

会 長…ほかに意見がなければ第2期スポーツ推進計画素案については終了したい

と思う。今後も何かあれば事務局に伝えてほしい。では次の協議事項に移る。

(2) 富士見ガーデンビーチの跡地利用について（意見交換）

→事務局から資料に基づき説明

会 長…富士見ガーデンビーチ跡地活用について、行政の考えを教えてください。

事務局…あらゆる可能性を考えながら検討していく予定である。あらゆる可能性とは、プールをつくるといったことや、スポーツ施設を建設するというわけではないということである。現在、市の公共施設が抱える問題のあるため、市全体として富士見ガーデンビーチ跡地をどう活用するか検討をすすめていくといった意味であらゆる可能性と表現した。しかし、スポーツを所管する担当課としては富士見ガーデンビーチの跡地ということもあり、市民の方々がなにかしらスポーツをすることのできる施設にしたいと提案していきたい。最終的な市の判断でどのような施設になるかはわからないが、市のスポーツ施設が抱える課題を解消できるものを考える視点であったり、これまで市民の方からいただいた様々な意見をふまえながら、スポーツの所管課としてどのように活用することがふさわしいのか検討している。まずは審議会委員の方々の意見を頂戴したい。

会 長…各委員意見等あればお願いしたい。

委 員…何かしらスポーツができる施設というと体育館が思い浮かぶが、すでに体育館はある。そのため室内プールが妥当ではないかと思う。しかし大雨が降ると水浸しになる地域であるため、どのような施設にするにせよ難しいのではないかと考える。

委 員…温暖化と新型コロナウイルス感染症の対策がされた施設にしなければならないことは確かである。新型コロナウイルスの影響により体育館が使いなくなりスポーツができなかったり、温暖化によって屋外での運動を行うことが大変になっている。また、1つのスポーツしかできない施設ではなく、様々なスポーツのできる施設にする必要がある。案としては、人工芝で屋根付き、周囲を防球ネットで囲んだ施設であればフットサルやテニスなどを行うことができる。このような施設であれば、夏でも涼しく様々なスポーツを行うことができるのではないか。

委 員…最近、公園では高齢の方が多く、運動はできるがボール遊びをすることができない公園が増えている。子どもをどこで思いきり遊ばせればいいのかわからない現状になってきている。そんな中、人工芝の施設は魅力的であ

り、ららぽーと富士見の広場が人工芝になったことで遊びに来る方も増えた印象をもっている。芝生であれば子どもを安心して遊ばせることができる。富士見ガーデンビーチの跡地でも人工芝の床にし、区分けをして使用できるようにすると多くの方が利用しやすいのではないかと。プールというのは子どもが主に遊んでいた場所であるため、今後も子どもたちが大人になってからも帰ってきてくれるような場所になってほしいと思う。

委員…富士見ガーデンビーチの土地は市の保有している土地であるのか。

事務局…そうである。

委員…自分の子どもも富士見ガーデンビーチに行ったことがあったためいい形で跡地を活用していきたいと思うが、大規模なスポーツ施設にするには狭い。そのため行きやすく、多種目に活用しやすい施設にするのが良いのではないかと。別の考えとしては、ある世代に特化した施設をつくるのはどうか。例えば若い子どもたち向けの施設をつくり、幼児期からスポーツに触れる施設である。他にはスタジオのような区切られた空間が多くあるような施設も良いのではないかと。もう一つの意見としては、現在の土地を売り払い、より広い土地を買って活用するという考え方もあるのではないかと。

委員…焼却場の地熱利用をした温水施設や温泉を完備したスポーツ施設にしても良いのではないかと。また、土地のもっている課題をふまえて活用を考えていき、天候に左右されないように屋根付きの施設にすることで熱中症対策にもなる。コロナ禍では部活動での活動場所を失い、運動をする機会を失った。小さなバスケットコートや野球場などがあれば、子どもたちが集まって様々な活動ができるため、そのような場所があればスポーツの推進につながるのではないかと。遊具などを完備したスポーツのできる施設で、更に屋根がついていれば近隣市町村にない施設になり、人が集まってくるのではないかと。

委員…具体的な構想はないが、方向性としてはスポーツに限らない複合機能が備わった拠点になればいいのではないかと。スポーツもでき、スポーツに興味がない方にもスポーツを始める入口になるような交流拠点ができれば、第2期スポーツ推進計画で掲げる目標達成にも貢献するのではないかと考える。

会長…富士見ガーデンビーチの土地の広さは中途半端であり、活用は難しいのではないかと考える。場所をこだわらずに考えても良いのではないかと。意見をもちている。

事務局…様々な意見をいただいたが、市民の交流拠点となる施設は、第2期スポーツ推進計画の目標達成に必要な施設である。確かに面積はあまり広くなく、現在ある駐車場の面積を抜くと学校の校庭ほどの広さしかないが、スポー

ツ施設の抱える課題として体育館の土日利用の飽和状態であったり、今年のオリンピックを契機として新たなスポーツが注目されていたりするため、そのような点も意識していく必要があると考える。現在の方向性としては、富士見ガーデンビーチの跡地を活用して市民の方がより楽しめるような施設をつくっていく考えをスポーツ所管課としてもっている。本日もらった意見の中の人工芝であったり、天候に左右されない施設という視点は今まで検討していなかったものであり、どこまで実現することができるかわからないが、今後の検討材料として入れていく。

会 長…またこれからも意見等あれば事務局に伝えてほしい。

5 そ の 他 事 務 連 絡

6 閉 会

以 上